

日刊 發行兼編輯人 川 文 治 本社（同前地）電話六三〇番 印刷所 常盤毎日印刷所 電話六三〇番



刊夕日一十三月五

定 額 一 部 金 貳 銭 廣 五 銭 十 二 休 日 曜 大 陸 一 部 金 貳 銭 廣 五 銭 十 二 休 日 曜 大 陸 一 部 金 貳 銭 廣 五 銭 十 二 休 日 曜 大 陸

支那戰況愚感 (終) 天津駐屯步兵 萩原英 隊第二中隊長 狡猾なる馮玉祥は天津を攻 略し成功の後我國今次の出 兵に對し如何なる行動に出 づるや最も注意を要する處 なり彼が我國と各國との協 調を缺くが如く努むるは想 像に堅からず若し之れに基 因し軋強を生ずるに至らば 將來の大戦の胚胎を來すこ とを思はざるべからず、支 那の排日思想は從來に比し 著しく悪性を帯び來る感あ り、我國の對支策は自重に 自重を重ねつゝある關係上

今次の京津の出兵の如きも 機に應じて遂次に出兵する の主義を選びつゝあるもの 如し、這般揚子江沿岸に 於ける排英運動の際の如き 英國は二萬の大軍を送り居 留民及既得權の保護のため 武力的行動に出でたるを以 て排英運動の終熄と各國民 の保護の完全を期したり、 當時我國は英國の派遣に對 して反對の行動を採りたるた め英艦をして動かさず苦境 に陥らしめた例あり故に 今次の出兵に對しては英の 如き我行動に必ずしも圓滿 なる協調を得ざることを豫 め覺悟せざるべからず、吾 々は京津の警備は勿論のこ

と帝國陸軍の威信のため最 善の努力を以て最善の方法 を選び任務の完全を期せん とするも四圍は如上の如く して帝國の樂觀を許さず國 民は益々自重し國難に當る の覺悟あるを要す 要するに我國の現況は内憂 外患交々至り乾坤一番大に 努力を要し政府を鞭撻し以 て帝國の威信を失墜せざる 様舉國一致奮起を希望す



鶴屋商店 電話百四十番

小學生通學服 七八才用 一圓十錢 十才用 一圓二十錢 十二才用 一圓三十錢 女學生用白傘 レース付 一圓三十錢 レース付上 一圓九十錢 タック入 一圓五錢 一圓五錢 店內ニ陳列シテ有リ マス 平町四丁目 電話百四十番

三週年紀念特別大興行 凱歌高唱時代劇大會 マキノ三郎主演 月形龍之助主演 下部道中悲記七 鈴木澄子・杉狂児助演 マキノ超特作 嵐長三郎主演 暗涙強者 大布キネ超特作 本年四月封切! 大阪落城の血涙史若き長 陣血判見届 慶長元和大史劇 木村長門守 市川百々之助主演大熱演 嵐璃徳・尾上紋十郎・嵐徳太 郎・實川延松・阪東豊昇・中 村正二郎・中村小福・千草香 子・久野あかね助演 六月一日替り 帝キネ 有聲座

公告 高岡武司君 右の君は五月十八日限り本社と何等關係 無之候間此段謹告候也 磐城の時事社

安齋外科醫院 診療時間 午前八時より午後九時まで (但し急患は此の限にあらず) 花柳病科 脱腸肛門病科 平町四丁目大通り電話四三六番

久全屋商店 磐城セメント會社特約店 磐城平町五丁目 電話九番 一三九番 耳鼻咽喉科専門 大和田醫院 平南町(電話一七〇番) 開店御披露 美味...大量...時節柄...安値 御試食の上...御談判を 出前迅速...一品配達歓迎 大塚豚肉問屋...直營 カフェー幸樂 平町六丁目電話五三九番

内科 小兒科 花柳病科 (需應院入) 藤沼醫院 平町紺屋町 電話五〇七番

大日活超傑作最大の雄篇 義勇軍 藤沼醫院 主演 尾上辰之助 監督 伊藤大輔 監製 伊藤大輔 原案 伊藤大輔 脚本 伊藤大輔 演出 伊藤大輔 美術 伊藤大輔 音楽 伊藤大輔 衣裳 伊藤大輔 字幕 伊藤大輔

堅牢 優美 人造大理石 用途 玄関、廊下、浴室、洗面台、便所等のユカに用いて堅牢優美... 御一報次第參上御相談に應じ候 平町四丁目 鈴木勇作

平原町間の難所で競技

御召列車の乗務員入選

今秋の陸軍特別大演習に關し鐵道省では輸送計畫その他協議中だが御召列車運轉の光榮を擔ふ乗務員入選のため運轉競技會を開き競技について選考の上更に性行調査を行ふ事になつたか競技會は仙台運輸事務所司會の下に仙台長町小牛田一ノ關原ノ町の五機關庫乗務員より技術優秀なる職員を選考七月上旬常磐線原ノ町平間四十八マイル一分で大型

湯本温泉神社 縣社に昇格

臨時祭を執行

縣ではかねて石城郡湯本町郷社湯本温泉神社係から縣經由主務大臣へ認可申請して來てゐる同神社を縣社に昇格しきものと認め稟伺中であつた處廿四日附で望月内務大臣から縣社列格を許

紅白餅をひやく

北條製作所の上棟式舉行に

平町白銀町諸機械製作所品販賣北條直氏は多年業務

政良君生る

平町五丁目釜屋本店諸橋元三郎氏の令聞は此祥玉の様な男兒を擧げ母子共に健全にて政良君と命名せる由

平町人事

▲出生
△南町五四 宮崎政次郎氏三男正毅
△新川町一四 當時東京府荏原郡目黒町林宗益氏四男泰正
▲婚姻
△長橋町四一 豆腐製造業四倉利勝氏(二九) 石城郡飯野村見瀧ミカ(二三)
△東京府北豐島郡王子町 鐵工原田鐵太郎氏(三四) 大工町二〇有坂トヨ(二九)

片倉製糸平工場 愈よ實現具體化

候補敷地は四軒町と月見町 近く會社側で調査

片倉製糸の平町における工場建設問題は町當局者及び片倉組重役間數次の折衝實地踏査によつて漸次促進され有力なる建設敷地として四軒町の好間江筋を

決定次第 直ちに募株する

伏見平町長語る

右につき伏見平町長は語る「片倉製糸工場の平町建設問題は大變好都合に促進されてきたまづ兩方の建築敷地に平水道の水を引き製糸工場用として堪へ得るや否やにつき試験的調査をしましたが差支へない結果を見ましたので今度は敷地の決定を片倉本社の藤森建築課長に依頼し決定を見て三百萬圓の株式募集をします半額百萬圓は片倉組で引受けるはずで一株五十圓四萬株拂込は四分の一十二圓五十錢で片倉組で定款の草案を作成し、こちらでは養蠶が上り次第養蠶業者の

肥料難に陥る 稲作減収か

金融梗塞から

昨春以來財界のバクニツクに伴ひ郡下の銀行に休業するもの續出し金融状態は極度に梗塞したる結果農家が肥料購入資金期に際し肥料資金に欠乏を來せるため肝心の肥料購入をなすことが出來ず目下稲作期を目前に控へ非常なる困難を來して

糧食部直轄に 手を焼いた馨炭

再び平地方の商人から 供給する事になるらし

磐城炭礦の糧食部では昨年十一月以降米味噌その他必要物資の購入に關し從來の如く平地方商人との間に於ける取引を廢しこれをことごとく茨城縣土浦町岡本氏によつて一手に購入供給する事となつたので内郷小野田以上石城郡千代田重内以上茨城縣多賀郡の各坑を通じ従業員約一萬人これが家族を合せ約四萬五千人に對する物資の供給關係を絶たれた平町地方

春蘭出廻 組合の意氣込

石城地方の春蘭はいよゝ來月中旬より出廻りを開始するに至るだらうと見られるので販賣利用組合の四倉蘭市場も六月十二日から開市されることとなつたが前年の取扱ひ状態に鑑み本年は乾燥機を増設せねば間にあはざる有様にもなつたので既に二千圓を投じて補助乾燥機の据付も行ひ來るべき繁忙期を待つてゐるが本年は同組合にて各町村役場は附近へ市場取引相場

極めて 緩慢な状態

を呈してゐるのでこの分で推移するときは肥料の不足から本年の稲作は意外の減収を見るではないかと非常に憂慮され郡農會はこれが對策を考究中である

募集 文藝其他投稿を募集します

城縣方面より供給されるに至つたので從來金融上の都合より賣却するより外に途のなかつたものが農業倉庫等の機關によつて一時的融資を受け得るゝ様になり賣却せずには持越す傾向になつた事なども原因の一とされてゐる

加藤牧師轉任 平聖

公會牧師加藤泰治氏は今回白河に轉任後任として秋田教會より村田敏雄氏來月三日四日頃着任の等加藤氏は平町在住七ヶ年その間よく布教傳導に努力する一面先年來工業補習學校の創設に奔走した熱心家でありまた後任村田牧師は詩人肌の篤行者で宗教に關する二三の著書がある

殘米六萬石 農家が惰氣る

石城郡地方の昭和二年度産米はこの程平穀物検査所の調査によつて約六萬石の殘米を見てゐるものゝ如く發表されてゐるが、平穀検査内の生産數量十六萬石より見れば三分の一強の殘米であるが本年田植期に至らんとするに斯の如き多量の殘米を見たる例なくこれが大体の原因と見られてゐるのは磐城炭礦への糧食が炭

平町人事

▲出生
△南町五四 宮崎政次郎氏三男正毅
△新川町一四 當時東京府荏原郡目黒町林宗益氏四男泰正
▲婚姻
△長橋町四一 豆腐製造業四倉利勝氏(二九) 石城郡飯野村見瀧ミカ(二三)
△東京府北豐島郡王子町 鐵工原田鐵太郎氏(三四) 大工町二〇有坂トヨ(二九)